

## 令和4年度 コミュニティかすみ事業報告

### 1. 重点の目標・課題

#### <重点の目標>

『私たち職員は利用者の皆さまの健康で安全、快適な生活を目指します。』

#### <重点の課題>

##### ○重度化・高齢化への対応と支援

- ・高齢化対策チームを立ち上げ日中活動を含めた検討課題を抽出する
- ・出入口をバリアフリー化する…職員玄関及び非常口玄関スロープ設置
- ・入浴支援の実施

##### ○意思決定支援

- ・意思決定支援チームを立ち上げ、意思決定支援計画書の書式も含めて検討。

- ・ケース会議を年3回行う

##### ○グループホームの今後の在り方

- ・グループホームの在り方検討チームを立ち上げる。

まちなかホーム(希望者が少ない)、世話人の担い手がないなど課題を抽出し検討する

##### ○虐待防止と対策

- ・11月にチェックリストを実施 内外の研修実施参加

##### ○コロナ禍の対応

- ・国・県の情報・状況に応じて判断

- ・手洗い、うがい、手指消毒、環境消毒、3密を避ける等基本対策の徹底

### 2. 重点の課題に対する取り組み状況

#### ○ 重度化・高齢化への対応との支援

当 GH は次年度 4 月 1 日付で平均年齢 58.7 歳(男性 58.2 歳、女性 59.1 歳) {(昨年度平均年齢 58.0 歳(男性 57.5 歳、女性 58.7 歳)} と年々平均年齢が上がってきており 60 歳に達する勢いである。平均障害支援区分：3.8 で昨年よりも 0.1 軽くなったが区分 4 の方が半分を占め、利用者の方の重度化・高齢化が進んでいることは変わらない現状である。このような現状を踏まえ高齢化対策チームを中長期計画の一環と絡み合わせ立ち上げた。

高齢化対策チームで検討し、活動されたことは以下のとおりである。

★高齢化で起こり得る事故を防ぐため、コミュニティの改修した方が良い所や気になるところを挙げ、対策を考えた。

- ・全体的に段差多くバリアフリーではない。改修したいところはたくさんある。
- ・転倒防止のため厨房に新しいスリッパを買った。

- ・新館出入口のスロープ工事完了。インターホン設置完了。玄関のセンサー設置完了。
- ・55歳ごろには介護保険の説明をする。利用者が希望する生活の実現のため今後どのように暮らしていきたいか希望を聞く。

★高齢の為出来なくなる日課や係の仕事、危惧される部分を挙げて対策を考えた。

- ・当番制（風呂・厨房・掃除）→怪我の恐れあり。
- ・食事→きざみ食が必要になるかも。更なる食事の見守りが必要になる。
- ・外出→現在歩いて行ける人も難しくなってくる。認知症による徘徊注意が必要。  
散歩や体操を行い、日頃から足腰の衰え予防する。

- ・職員の体制はその都度状況によって変えていかなければならない。

引き続き障害の重い方への支援は支援計画シートを活用し支援の標準化を図る、一方高齢の方への支援は個別支援会議で検討し、入浴介助や血圧測定などのバイタルチェックやSP02の測定など健康観察に主眼を置き高齢の方でも安心して暮らせる場の提供を心掛けている。

入浴支援も月・水・金の午後実施している。必要に応じてバスリフトを使用する。

#### ○ 意思決定支援

・昨年に引き続き、利用者のエンパワメントを引き出し、自立生活への足掛かりを見出せるよう支援を心掛けた。個々の地域生活移行のニーズに対しては、相談支援専門員との連携や家族との調整を図り、積極的に支援した。

- ・意思決定支援内部研修に参加した。

・コミュニティ会議やアセスメント、個別支援会議、モニタリング等の際には意思決定支援に重点を置いた計画を立案し、コミュニティ会議・まちなか打ち合わせではさらに具体的な個々のケースをあげ検討を重ねた。

・利用者との関わりの際、意思決定支援を念頭に障害特性に配慮しながら支援を行った。（具体的な取り組みに関しては以下に記載）

※ 自閉症の方に対して、コミュニケーションツールとして絵カードなどを用いて視覚支援を行い、意志表出支援に努めた。

※ 聴覚に障害のある方に対して、手話に精通している職員に関わってもらいコミュニケーションを図り、意思決定支援に繋がる様務めた。

※理解力に欠け他の方とトラブルを起こしてしまう利用者さんに対して『振り返りシート』を活用し支援にあたった。

中長期計画の一環として意思決定対策チームをたちあげ主に意思決定支援アセスメント票をつかって事例検討を3回行った。

#### ○グループホームの今後のあり方

グループホームの在り方検討チームを中長期計画の一環として立ち上げた。そこで検討された内容として

- ① 今後のGHはどう変化していくべきか課題をさらに抽出する
- ② 利用者さん中心で考えることが大切との観点からアンケートの実施を考えた。内容の検討

を行う。

③ 各担当が面談によるアンケートを実施し、回答によっては個別支援計画と連動する。  
以上のようにコミュニティだけで考えたものであるため今後法人の方針と照らし合わせて次年度に繋いでいきたい。

#### ○虐待防止と対策

- ・年1回11月にチェックリストを実施。
- ・ホームが閉鎖的にならない様、早出や遅出職員の配置を行った。それにより世話人・支援員間で意識・支援の共有をし、世話人が孤独にならない様風通しの良い職場環境に心掛けた。（「報・連・相」の重視）
- ・コミュニティ会議・まちなか打ち合わせ・世話人会議で虐待防止・権利擁護の研修を実施した。
- ・虐待防止・権利擁護内部研修に参加した。今年度はGH世話人にも研修に参加してもらい支援の向上に努めた。

#### ○その他の取り組み

OJT チームをたちあげて新人の育成に取り組んだ。従来の1対1での取り組みでなくて新人一人に対して支援面 業務面 からOJTIを複数の職員で対応した。そこでの育成面に関して、詳細な打ち合わせがその都度行われていた。その月の目標設定を明確に行なっていった。

#### ○ コロナ禍の対応

☆通院の在り方・調整（通院を控える）⇒感染状況に応じて通院支援を行う。

☆生活の中でとりくみ（3密を避ける）— 食堂、車内にアクリルパネルを設置

- ・ 食事場所の分散
- ・ 自治会開催の中止（伝達事項は白板掲示）
- ・ 不要不急の外出中止（土曜午後 W 食品店移動販売実施）
- ・ 再度 手洗い 手指消毒 うがいの徹底 環境消毒 換気 マスク着用
- ・ 外部者への検温、手指消毒 マスク着用
- ・ 休日の検温 朝夕実施
- ・ 帰省時に健康チェック表を用い、帰省中の健康状態の把握とホームに戻る際に抗原検査で陰性確認をする。
- ・ 外出などは「福井県民指針」「新しい生活様式」に基づき実施

☆その他のとりくみ

- ・ あすなろ班(レッドゾーン)活用の状況について

7月ワークかすみの通所利用の方から広まりコミュニティかすみ他まちなかのホームにまで感染が広がっていった。男女同室できない観点からあすなろ班だけではなくてワークかすみの多目的室を女性が使うといった事態になった。このときあすなろ班は男性4名 ワークかすみ多目的室を女性3名が使用した。

その後8月に帰省から戻ってきたときに感染した1名 職場からの濃厚接触者として使用

するに至った。ライフかすみでも感染者が発症したときはあすなろ班の使用は難しかった。かすみホームで感染確認されるとそのホーム自体がレッドゾーンとなり、電話連絡による支援を行った。

7月のクラスター発生時から日々の業務に支障をきたさないよう濃厚接触者と判明した場合のチェックリスト(資料1)と感染症対応引継ぎ書を作成しその後の感染に対応していった。

- 新しい生活様式に基づいたレクリエーションの実施  
コロナ禍におけるレクリエーションの基本的な考え方＝密を避け 急なキャンセルも予想されるため予約をせず 車1台で移動できる範囲とした。

令和4年度 新規利用者 1名 退所利用者 2名

## 資料1

### ～ 濃厚接触者等と判明した場合の対応チェック表 ～

- センター長に連絡を入れる。 □ 対応者:
  - 関係する事業所に連絡を入れる。※ □ 対応者:
    - 【コミュニティ】      【そよかぜ】      【コスモスH】      【すだちH】
    - ・ライフ                  ・ライフ                  ・ワーク                  ・ワーク
    - ・ワーク                  ・ワーク                  ・ハーモニー              ・昇光家具
    - ・ハーモニー              ・ハーモニー              ・クリクラ                  ・リード食品
    - ・はんだか                  ・はんだか                  ・つぐみ事業所              ・轟産業
    - ・医師会                  ・ハッピーワーク              ・セッツカートン
    - ・クリクラ                  (自身で連絡を入れる)
    - ・木の花
  - 【わたなべH】              【つばさH】              【めぶきH】              【かすみH】
  - ・つぐみ事業所              ・ワーク                  ・ワーク                  ・ワーク
  - ・コミュニティ丸岡          ・ハーモニー              ・ライフ                  ・ハーモニー
  - ・ほのぼのハーツ              ・エイティーンズ              ・ほのぼのハーツ
  - ・ハマキョーレックス
- 判明したホームの全利用者の保護者に連絡を入れる。  
対象利用者の場合)PCR 検査の日程が分かれば、日程も伝える。  
身体拘束を行う場合(居室に施錠)も、保護者に連絡し、同意を得る。利用者同意の場合もあり得る。あすなろの作業場へ移動する場合も同様。 □ 対応者:
  - ★福祉の森への入力、身体拘束の用紙の記載
- あすなろの作業場を利用する場合、こがね 1 階に連絡を入れる。
- わたなべ食品に弁当注文の FAX を送付する。 □ 対応者:  
かつみ弁当のキャンセル又は弁当の発注と二重になっていないか確認する。  
数ものの食数を減らす。
- コミュニティで発生した場合、宮田世話人、辻川世話人、小西さん、大谷さん、他まちなか世話人には コミュニティに立ち入らない様連絡を入れる。\* □ 対応者:
- PCR 検査の結果が判明。保護者・センター長に連絡を入れる。 □ 対応者:

#### <活動再開に向けて>

- センター長の指示のもと、※の事業所に利用再開日の連絡を入れる。 □ 対応者:
- \* の場合、宮田世話人・辻川世話人・小西さん・大谷さん、他まちなか世話人にコミュニティへ立ち入り OK の連絡を入れる。 □ 対応者:
- 福祉の森へ「解除」の入力、身体拘束の用紙へ解除した日付を記載 □ 対応者:
- 隔離期間・待機期間終了後、その旨保護者に連絡を入れる。いつから日中活動を再開するのか、また健康状態もお伝えする。福祉の森にも入力。 □ 対応者;
- 各々の利用事業所に、いつから利用再開するのか連絡を入れる。 □ 対応者:
- あすなろ作業場から引き上げる時、こがね 1 階又はライフに連絡を入れる。

#### <あすなろ作業場への持参物>

- ・□ 寝具                          ・□ 洗面具
- ・□ うち履き                      ・□ バスタオル
- ・□ タオル                          ・□ ゴミ袋
- ・□ 着替え一式                      ・□ トイレットペーパー



●発生日時：

●移動日：

●待機期間： 月 日 ( ) ~ 月 日 ( )

●対象利用者名：

●受け渡し場所：

防護服を着替える場所：自分で出来るので基本入らない。何かあった場合、外玄関で着替える。

**基本的な流れ**

<日課>

◎夕食までの準備物		
食事	夕の弁当	(人数)
	朝の弁当	(人数)
	お茶	(人数×本数)
薬	夕の薬	服薬者名：.....
	眠前薬	服薬者名：.....
	朝の薬	服薬者名：.....
対応者： 平日・津田さん 休日 遅2		
※持参しない物は二重線で消してください。		

18:00 夕食

20:00 眠前薬

21:30

就寝の確認に行く。【そよかぜの宿直者】

22:00

コミュニティ宿直者がそよかぜ宿直者に電話をかけ情報を共有する。

◎朝食までの準備物		
食事	朝の食事	(人数)
	お茶	(人数×本数)
薬	朝の薬	服薬者名：.....
対応者：早2		
※持参しない物は二重線で消してください。		

◎昼食までの準備物		
食事	昼の弁当	(人数)
	お茶	(人数×本数)
薬	昼の薬	服薬者名：.....
対応者：遅2		

※あすなる班に出向いた際に行う事。

検温症状表の確認、表情などの確認





## 令和4年度 コミュニティかすみ 活動報告

月	日	記 事
4	1～17	アセスメント・個別支援計画作成
	22	世話人会議・まちなか打合せ
	27	コミュニティ会議
		中長期計画(GHあり方検討チーム打合せ)
29～5/8	連休中の帰省(新型コロナウイルスの為希望者のみ) 9名	
5	10	たけとう往診
	11	布団交換
	18	中長期計画(意思決定支援・高齢対策チーム打合せ)
	20	コミュニティ会議
	25	中長期計画(GHあり方検討チーム打合せ)
	27	中長期計画(OJTチーム打合せ)
		世話人会議・まちなか打合せ
	29	県障がい者スポーツ大会(ボーリング)
	消防設備点検	
6	4～5	県障がい者スポーツ大会(フライングディスク・陸上)
	13～19	保護者面会週間(中止)
	21	中長期計画(高齢対策チーム打合せ)
	22	35歳以下職員検診
		中長期計画(意思決定支援決定チーム打合せ)
	23	歯牙検診
	24	世話人会議・まちなか打合せ
	27	中長期計画(GHあり方検討チーム打合せ)
		コミュニティ会議
28・29	35歳以上職員検診	
30	法人内研修(虐待防止・合理的配慮)	
7	3	まちなかホーム水害想定避難訓練(わたなべ)
	4	まちなかホーム防災設備点検(かすみ・すだち・わたなべ)
	5	まちなかホーム防災設備点検(つばさ・めぶき)
	6	まちなかホーム水害想定避難訓練(すだち)
	7	たけとう往診
		土砂災害避難訓練
	7～8	北陸地区知的障害者関係施設職員研究大会
	22	世話人会議・まちなか打合せ
	27	コミュニティ会議
8	1	令和4年度 全国知的障害者施設関係施設長会議(ZOOM)
	13～16	お盆休み帰省(新型コロナウイルスの為希望者のみ) 11名
	23	コミュニティ会議
	26	世話人会議・まちなか打合せ
	31	生活習慣病検診(利用者)
	1～2	強度行動障害者支援者養成研修(基礎)

月	日	記 事
9	6	たけとう往診
	16	中長期計画(高齢対策チーム打合せ)
		まちなかホーム水害想定避難訓練(つばさ・めぶき)
	20	老人・障がい者福祉施設給食担当職員研修(ZOOM)
	28	中長期計画(GHあり方検討チーム打合せ)
	30	コミュニティ会議
世話人会議・まちなか打合せ		
モニタリング・個別支援計画の見直し		
10	2	まちなかホーム水害想定避難訓練(かすみ)
	4	生活習慣病検診(利用者)
	6	老人・障がい者福祉施設給食担当職員研修(ZOOM)
	10	中長期計画(OJTチーム打合せ)
	16	コミュニティ・そよかぜレクリエーション 保護者会面会日(中止)
		まちなかホームコース別外出(ボーリング・ショッピング)
	17	アンガーマネジメント研修
	18	夜間避難訓練(コミュニティ・そよかぜ・コスモスホーム)
	21	世話人会議・まちなか打合せ
		県知的障害者福祉協会職員研修会
	26	コロナワクチン予防接種
	27	コミュニティ会議
		法人内研修
30	まちなかホームコース別外出(西山公園)	
11	1	たけとう往診
	5	まちなかホーム個別外出(松島水族館)
	16	中長期計画(GHあり方検討・高齢対策チーム打合せ)
	24	コミュニティ会議 中長期計画中間発表(GHあり方検討・高齢対策・意思決定支援・OJT)
		コミュニティ打ち合わせ
	25	世話人会議・まちなか打合せ
	29	法人内研修(食中毒・感染予防)
12	7	防災研修
	12	県障がい者虐待防止・権利擁護研修(Eラーニング)
	14	インフルエンザワクチン予防接種(利用者・職員)
	21	コミュニティ会議
		コミュニティ打ち合わせ
	23	世話人会議・まちなか打合せ
	24	クリスマス会
	29~1/3	正月帰省(新型コロナウイルスの為希望者のみ帰省 11名)
1	10	たけとう往診
	13	福祉職員生涯研修課程フォローアップ研修(新任職員)(ZOOM)
	16	虐待防止・権利擁護研修(分野別)
	20	夜勤従事者採血

月	日	記 事
1	23	福祉職員生涯研修課程フォローアップ研修(中堅) (ZOOM)
	27	世話人会議・まちなか打合せ
	31	コミュニティ会議
コミュニティ打合せ		
2	2	内部研修(感染症・食中毒)
	22	コミュニティ会議
		コミュニティ打ち合わせ
		中長期計画(高齢対策チーム打合せ)
	24	世話人会議・まちなか打合せ
	25	3団体合同研修会 (ZOOM)
	28	権利擁護部会研修
3	1	モニタリング・個別支援計画の見直し
	5	中長期計画(GHあり方チーム打合せ)
	7	たけとう往診
	9	内部研修(虐待防止)
	17	コミュニティ会議 中長期計画年間まとめ(GHあり方検討・高齢対策・意思決定支援・OJT)
		コミュニティ打ち合わせ
	19	まちなかホーム個別外出(三国ゆあぼーと)
24	世話人会議・まちなか打合せ	

